LIXIL

説明書番号 ME-1906
改ー3

スリットラインシリーズ
ビームスタイル（たて格子）施工説明書

●この度は、当社商品をご採用いただき誠にありがとうございます。商品を正しく安全に組立・施工していただくために、施工説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。
●本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。　施工にあたっては必ずお守りください。
●施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
●施工説明書は施工後必ず施主様へお渡しください。

施工時の注意事項　　施工にあたっては次の点をご注意ください。

●モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。
●モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
●アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
●腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
●埋め込み柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。
●モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品に付着しないようご注意ください。
●施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
●輸入木材には塩素イオン等の腐食成分が多く含まれているものがありますので、その使用を避けていただくか、アルミと接触する部分には木材に塗装するようにしてください。
●基礎施工は、地下埋設物（給水配管等）に影響を及ぼさないように柱置位置決めてください。また、寒冷地はその地域にあった基礎工事を行ってください。
●地盤が軟弱な場合は、柱の埋め込み深さ、フーチングの大きさを考慮してください。
●養生期間は十分（４日～１週間）にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
●支柱の水抜き穴をモルタル等で塞がないでください。
●屋上や沿岸に面した非常に風当りの強い場所等には設置しないでください。
●改造・変更をしないでください。

この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。	❗	「必ず行っていただくこと」を示しています。

⚠注意

●本体に乗ったり、揺すったりしないでください。
●本商品は隣地境界等の目的に設置するものです。防護柵や手すり等に使用しないでください。
●雨具・洗濯物・布団等を載せないでください。
●製品に電線等を直接載せないでください。
●各ボルト・ビス類は、確実に締付けてください。
●無理にボルト・ビスを締付けないでください。破損の原因となります。
●ラミネート格子・ポリカーボネートの近くで、殺虫剤・除草剤を使用しないでください。有機系・石油系の物質が付着すると、パネルの変色やムラ、変形、割れを生じることがあります。

■スリットラインシリーズ

番号	施工説明書名称	説明書の梱包先	番号	施工説明書名称	説明書の梱包先
ME-1793	フェンススタイル（たて格子） フェンススタイル（DPGパネル＋たて格子／よこ格子） ウォールスタイル壁内タイプ（よこ格子）	胴縁エンド	ME-1803	飾り門柱	飾り門柱
ME-1903	フェンススタイル・ウォールスタイル壁内タイプ（よこ格子）	よこアタッチセット	ME-2171	フェンススタイル(たて格子ユニットパネル)施工説明書	たて格子ユニットパネル
ME-1795	直角・自在コーナー（たて格子）	直角コーナー部品 角度自在コーナー部品			
ME-1796	直角・自在コーナー（よこ格子）	直角コーナー部品 角度自在コーナー部品	ME-1808	接続金具Ａ	接続金具Ａ
ME-1797	パーゴラスタイル	垂木掛けエンドキャップ	ME-1906	ビームスタイル（たて格子）	ビームスタイルたて柱セット
ME-1799	ウォールスタイル持ち出しタイプ（たて格子）	単体部品セット	ME-1907	ビームスタイル（よこ格子）	ビームスタイルよこ柱セット
ME-1800	ウォールスタイル持ち出しタイプ（よこ格子）	躯体取付セット(端部)	ME-1908	ビームスタイル・テラスのせ納まり	テラス接続金具
ME-1801	アーチスタイル	アーチスタイル柱セット	ME-1909	フェンススタイル（たて格子）・Ｒ納まり	Ｒタイプ胴縁
ME-1802	スリットライン門扉	門柱	ME-1806	フェンススタイル（たて格子）・W40タイプ	壁内取付金具

もくじ

梱包明細 2
格子の種類 3
納まり図 3
1．柱部品の取付け 5
2．梁の取付けと柱の設置 5
2－1梁の切詰め 5
2－2梁の取付け 6
2－3柱の設置 6
3．格子（柱用）と胴縁の取付け 8
3－1取付前の手順（※格子1段・2段共通） 8
3-1-1格子取付金具の取付け 8
3-1-2上・下胴縁の確認と胴縁カバーの取外し 8
3-1-3胴縁へのビスの仮止め 8
3－2 H2500・格子1段・H3000（35×55格子）・格子1段の取付け 9
3-2-1格子の取付け 9
3-2-2胴縁の取付け 10
3－3 H3000/3500・格子2段の取付け 11
3-3-1施工順序の確認 11
3-3-2下段の格子の取付け 11
3-3-3下段の胴縁の取付け 13
3-3-4上段の格子の取付け 13
3-3-5上段の胴縁の取付け 13
3－4裏板の取付け（※格子1段・2段共通） 14
4．格子の取付け 14
5．胴縁カバーの取付け 15
施工工事店様、販売店様へのお願い 16

梱包明細

●施工前に、部材数量および部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無いか確認してください。
●取付説明書に記載している部材・部品（ビス含）以外は使用しないでください。

梱包名称				梱包内容　表内の（　）は個数を示しています。
梁	ビームスタイル梁	出巾:2000/3000		ビームスタイル梁（1）
柱	ビームスタイル たて格子柱	H:2500/3000/3500		ビームスタイルたて格子柱（1）
				柱キャップセット（1）[ビームスタイル柱キャップ（1）・φ4×16トラスタッピン3種（1）φ4×12トラスタッピン2種（1）]
				柱梁連結金具セット（1）[柱梁連結金具（2）・裏板（1）・M8×20セムスボルト（10）M8×75コーチスクリュー（3）・M8用平座金（3）アンカー棒（1）・取付説明書[ME-1906]（1）]
胴縁	ビームスタイル たて格子胴縁	W:910 格子P:91		ビームスタイルたて格子上胴縁（1）・ビームスタイルたて格子下胴縁（1）・胴縁カバー（2）
				格子取付ビスセット[φ4×12トラスタッピン3種（23[5]※1）]
		W:910 格子P:45.5		ビームスタイルたて格子上胴縁（1）・ビームスタイルたて格子下胴縁（1）・胴縁カバー（2）
				格子取付ビスセット[φ4×12トラスタッピン3種（46[10]※1）]
		W:1820 格子P:91		ビームスタイルたて格子上胴縁（1）・ビームスタイルたて格子下胴縁（1）・胴縁カバー（2）
				格子取付ビスセット[φ4×12トラスタッピン3種（43[5]※1）]
		W:1820 格子P:45.5		ビームスタイルたて格子上胴縁（1）・ビームスタイルたて格子下胴縁（1）・胴縁カバー（2）
				格子取付ビスセット[φ4×12トラスタッピン3種（86[10]※1）]
取付金具	たて格子取付金具	端部用	2個入り	ビームスタイル格子取付金具（端部用）（左右各2）・φ4×12トラスタッピン3種（16）φ4×12皿タッピン3種（12）・φ4×20トラスタッピン3種（4）・裏板（4）
			3個入り	ビームスタイル格子取付金具（端部用）（左右各3）・φ4×12トラスタッピン3種（24）φ4×12皿タッピン3種（18）・φ4×20トラスタッピン3種（6）・裏板（6）
		中間用	2個入り	ビームスタイル格子取付金具（中間用）（2）・φ4×12トラスタッピン3種（8）φ4×12皿タッピン3種（10）・φ4×20トラスタッピン3種（4）・裏板（4）
			3個入り	ビームスタイル格子取付金具（中間用）（3）・φ4×12トラスタッピン3種（12）φ4×12皿タッピン3種（15）・φ4×20トラスタッピン3種（6）・裏板（6）

※1：[　]内は予備数を示しています。

格子の種類

●本商品には、下記の4種類の格子を取付けることができます。

● 35×55格子

※格子ピッチ：91

●ルーバー格子

※格子ピッチ：91

●細格子

※格子ピッチ：45.5

納まり図

H2500・格子 1 段

●縦断面図（35 × 55 格子の例）

●基本納まり図

●梁取付部詳細図

● A-A 断面図

●横断面図（35 × 55 格子）

●横断面図（ルーバー格子）

●横断面図（細格子）

H3000（35×55格子のみ）・格子１段

※この納まりの場合、H寸法が格子2段の場合と異なります。ご注意ください。

●縦断面図

●基本納まり図

●梁取付部詳細図

● A-A 断面図

横断面はH2500・格子1段と同じ納まりになります。前頁の横断面図を参照してください。

H3000/3500・格子２段

●縦断面図

●基本納まり図

●寸法一覧表

(mm)

呼称サイズ	H3000	H3500
H	2955	3455
L1	1445	1445
L2	1445	1945
A	2787	3287

●梁取付部詳細図

● A-A 断面図

横断面はH2500・格子1段と同じ納まりになります。前頁の横断面図を参照してください。

1 柱部品の取付け

①裏板を使用して、柱に柱梁連結金具を取付けてください。

柱梁連結金具を柱と平行に取付けてください。

②柱下部にアンカー棒を差し込んでください。

③柱キャップを取付けてください。

※本図は、H2500・格子 1 段、35 × 55 格子の場合を示しています。

2 梁の取付けと柱の設置

●地下埋設物（給排水管等）に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。

2－1 梁の切詰め

現場の状況に応じて、梁の切詰めが必要な場合に行ってください。

①現場合わせで梁を切詰め、φ 10mm の貫通孔を 2 ヶ所あけてください。

テラスを取付ける場合は、下記の対応表を参照して切詰めてください。
※「ビームスタイル（テラス接続）[ME-1908]」および「ファインテラス」の施工説明書を合わせて参照してください。

●テラス出巾との対応表（参考） (mm)

テラスサイズ	梁長さ	テラスサイズ	梁長さ
3 尺	910 以上	7 尺	2110 以上
4 尺	1210 以上	8 尺	2410 以上
5 尺	1510 以上	9 尺	2710 以上
6 尺	1810 以上		

※ファインテラス FG 型・屋根角度 10° の場合

2－2 梁の取付け

①「納まり図」で、梁の位置を確認してください。

●金具の取付高さ寸法表 (mm)

呼称サイズ	柱高さ	GLからの距離：h
H2500	2500	2412
H3000	2955	2862
H3500	3455	3362

②躯体に柱梁連結金具を取付けてください。

柱梁連結金具を水平に取付けてください。

③柱梁連結金具に梁を取付けてください。

梁には上下があります。

2－3 柱の設置

柱と梁を連結する前に、柱の基礎を固めないでください。
※柱と梁の連結前に柱の基礎を固めてしまうと、梁が取付けられくなる場合があります。

①「納まり図」で柱の位置を確認し指定寸法の基礎穴を掘って柱を立ててください。

②「2-2」で躯体に取付済みの梁に、柱の柱梁連結金具を差し込んで取付けてください。

③柱をコンクリートで固定してください。

水平・垂直レベルを合わせてください。

水抜き穴をモルタルでふさがないように注意してください。
※凍結破損の原因となります。

GL 表示スタンプを目安にしてください。

●基礎寸法一覧表 (mm)

呼称サイズ	H	D1	D2	D3
H2500	2505	350	450	500
H3000	2955	350	450	500
H3500	3455	350	450	500

※本図は、H2500・格子 1 段、35 × 55 格子の場合を示しています。

3 格子（柱用）と胴縁の取付け

●納まりごとの手順を参照してください。

3－1 取付前の手順（※格子１段・２段共通）

格子取付金具が回転しないように取付けてください。

3-1-1 格子取付金具の取付け

格子取付金具には、端部用と中間部用があります。
※端部用には上下・左右の区別があります。
※中間部用には上下の区別があります。

●端部用　●中間部用

●中間部用
ビームスタイル
格子取付金具（中間部用）
EB-2555

※本図は、35 × 55 格子の場合を示しています。

①必要な格子（柱用）の本数を確認し、格子に格子取付金具を取付けてください。

必要な格子（柱用）の本数
・H2500・格子1段：柱1本につき格子1本
・35×55格子H3000・格子1段：柱1本につき格子1本
・H3000/3500・格子2段：柱1本につき格子2本

35×55たて格子H3000の場合、胴縁が3本になります。
格子の中間（ガイドライン上）にφ3.5mmの下孔をあけてから格子取付金具を3個取付けてください。

3-1-2 上・下胴縁の確認と胴縁カバーの取外し

①下図を参照して、上・下胴縁を確認してください。
（35×55たて格子H3000の場合、中間胴縁と下胴縁は同じ形状です。）
②出荷時に仮組みされている胴縁カバーを、スライドして取外してください。

胴縁には上・下の区別があります。
※上胴縁には方向があります。㊤ラベルが貼られていますので、ラベルの面を上にして取付けてください。
※ラベルは施工後にはがしてください。

●上胴縁　㊤ラベル
※施工後にはがす

●下胴縁・中間胴縁

3-1-3 胴縁へのビスの仮止め

①上・下胴縁の下図の位置に、ビスを仮止めしてください。

上胴縁の場合は、上下方向を間違えないようにしてください。
※上側には㊤ラベルが貼られています。

35×55たて格子H3000の場合は中間胴縁がありますので、上・下胴縁と同様の手順を行ってください。
中間胴縁は下胴縁と同じ加工になっています。

3－2 H2500格子1段・H3000（35×55格子）格子1段の取付け

H3000/3500の場合（H3000　35×55格子を除く）は、11ページの「3-3」へ進んでください。

3-2-1 格子の取付け

①柱の下側の取付孔にビスを仮止めしてください。

端部用　：格子取付側を仮止め
中間部用：両側を仮止め

右図でビス止めする取付孔の位置を確認してください。

②端部用の場合は、使用しない孔に捨てビスを取付けてください。

③仮止めしたビスに格子取付金具の切欠きを差し込んでください。

※本図は、35×55格子の場合を示しています。

④格子取付金具の残りの取付孔をビス止めしてください。

⑤「手順①」で仮止めしていたビスを本締めしてください。

※本図は、35×55格子の場合を示しています。

3-2-2 胴縁の取付け

①「3-1-3」で胴縁に仮止めしたビスを、格子取付金具の切欠きに斜めに差し込んでください。

上・下胴縁を間違えないようにしてください。
※上・下を逆に取付けると、格子が取付られなくなります。

②差し込んだビスを軸にして、胴縁を回転させながらはめ込んでください。

③3ヶ所をビス止めしてください。

④仮止めしているビスを本締めしてください。

35×55格子H3000の場合は中間胴縁を取付けてください。

3－3 H3000/3500・格子２段の取付け

35×55格子H3000の場合は、9ページの「3-2」を参照してください。

3-3-1 施工順序の確認

①図を参照して、格子２段の施工順序を確認してください。

先に下側の胴縁を施工してから、上段の格子を施工してください。

本項目では、共通の手順については下段のイラストで説明しています。上段も同様に取付けてください。

3-3-2 下段の格子の取付け

①柱の取付孔にビスを仮止めしてください。

端部用　：格子取付側を仮止め
中間部用：両側を仮止め

右図でビス止めする取付孔の位置を確認してください。

②端部用の場合は、使用しない孔に捨てビスを取付けてください。

③仮止めしたビスに格子取付金具の切欠きを差し込んでください。

④格子取付金具の上側の取付孔をビス止めしてください。

⑤「手順①」で仮止めしていたビスを本締めしてください。

3-3-3 下段の胴縁の取付け

①「3-1-3」で仮止めしたビスを、下段の格子取付金具の切欠きに斜めに差し込んでください。

> **上・下胴縁を間違えないようにしてください。**
> ※上・下を逆に取付けると、格子が取付られなくなります。

②差し込んだビスを軸にして、胴縁を回転させながらはめ込んでください。

③3ヶ所をビス止めしてください。

④仮止めしているビスを本締めしてください。

3-3-4 上段の格子の取付け

①9ページの「3-2-1. 格子の取付け」と同じ要領で、上段の格子を取付けてください。

> **仮止めビスは、「上段・下側」のみ取付けてください。**
> ※11ページ「3-3-2」イラスト参照

3-3-5 上段の胴縁の取付け

①本ページの「3-3-3. 下段の胴縁の取付け」と同じ要領で、上段の胴縁を取付けてください。

3－4 裏板の取付け（※格子１段・２段共通）

①裏板にビスを仮止めしてください。
②裏板（ビス仮止め済み）を胴縁の溝に挿入してください。
③裏板を 90° 回転させてください。
④裏板のビス頭を格子取付金具の切欠きに差し込んでください。
⑤ビスを本締めしてください。

裏板を奥まで確実に差し込んでください。
※金具よりはみ出していると、胴縁カバーが取付けられなくなります。

ME1906-312

ME1906-309

4 格子の取付け

●ここでは、格子１段と格子２段で共通の手順については、格子１段のイラストで説明しています。

● H3500・格子２段の場合は、必ず、「下段の格子」→「上段の格子」の順序で　格子を取付けてください。
●必ず、「下胴縁」→「上胴縁」の順序で格子をビス止めしてください。
35×55格子H3000の場合は「下胴縁」→「中間胴縁」→「上胴縁」の順序で格子をビス止めしてください。
※上胴縁から先に取付けると、下胴縁の取付孔位置が合わなくなることがあります。

①格子の上側に、ビスを仮止めしてください。

※本図は、35 × 55 格子の場合を示しています。

ME1793-501

②上胴縁の加工孔に、仮止めした格子のビスを引っかけてください。

※本図は、35 × 55 格子の場合を示しています。

ME1906-402

③位置の調整後、「下胴縁」→「上胴縁」の順にビスを本締めしてください。

格子の種類によってピッチが異なります。
※胴縁の加工孔にしたがって格子を取付けてください。

●35×45 格子・ルーバー格子

※本図は、35 × 55 格子の場合を示しています。
※ルーバー格子の場合も格子ピッチは同じです。

●細格子

中間胴縁には胴縁の孔加工から見える格子のガイドライン上にセルフドリリングビスで止めてください。

5 胴縁カバーの取付け

●取付前に、格子の取付けが完了していることを確認してください。
※胴縁カバーの取付後は、格子を取付けることができません。

①胴縁カバーを胴縁にはめ込んで取付けてください。

●はめ込みのポイント ※本図は、35×55格子の場合を示しています。

※端部をはめてから順に押し込んでください。

※きつい場合は、胴縁カバーにあて木を当て、木またはプラスチックハンマーなどでたたき込んでください。

※本図は、H2500・格子1段、35×55格子の場合を示しています。

施工工事店様、販売店様へのお願い

●「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
●本説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。

施工完了日	年　月　日
施工工事店	TEL（　　）　-
販売店	TEL（　　）　-

商品へのお問合せは・・・

この商品についてのご質問やご相談は下記の窓口にお問い合せください。

お客様相談センター
0120-126-001